

ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意

指導 国立感染症研究所 ウイルス第2部 第1室 室長 片山 和彦 先生

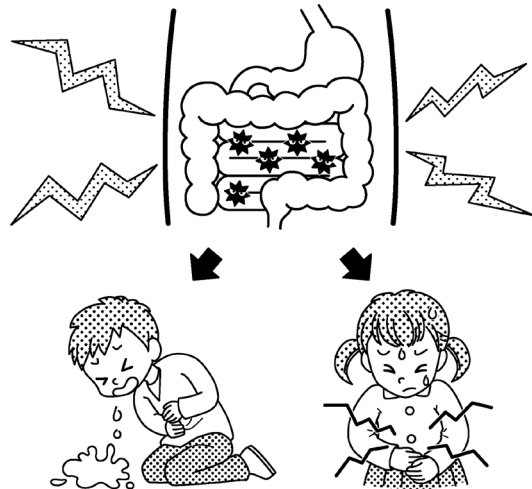
ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、年間を通して発生しますが、特に寒い時季は流行が起りやすく注意が必要です。

ノロウイルスは感染力が強く、ノロウイルスに感染した人のおう吐物や便を触った手などを通じてほかの人に感染します。感染の拡大を防ぐためには、おう吐物を適切に処理し、手洗いを食事前などにしっかりと行うことが必要です。

「ノロウイルス」とは

ノロウイルスは大きさは約38ナノメートル（1ナノメートル=1ミリメートルの100万分の1）というとても小さいウイルスです。感染力が強く、10数個のウイルスが体内に入っただけで感染することがあります。

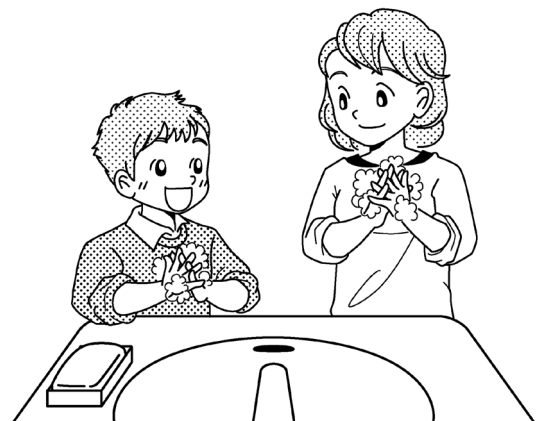
感染すると、1～2日の潜伏期間を経て、発熱やおう吐や腹痛、下痢などの症状が起ります。通常2～3日で治まりますが、脱水症状を起すこともあり、症状が出たら、こまめに水分補給をすることが大切です。



ノロウイルス感染予防のために ～まずは手洗い～

ノロウイルスに感染した患者の便1グラム中には、1億から1兆個ものウイルスがいるといわれています。

ノロウイルスに感染した患者が便に触れた後、手洗いをしっかりとしなかったため、ノロウイルスが、その患者が触った物を介して、ほかの人に感染した例は多くあります。感染予防のためには、患者はもちろん、周りの人がトイレの後や食事の前しっかりと手洗いをする必要があります。



おう吐物の処理法

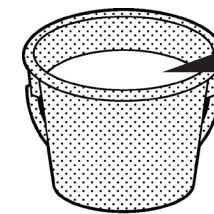
おう吐物にも、便よりは少ないものの大量のウイルスがいます。適切に処理して感染の拡大を防ぎましょう。

用意するもの

白衣またはエプロン、不織布マスク、ゴム手袋、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）、バケツ、新聞紙、ペーパータオル

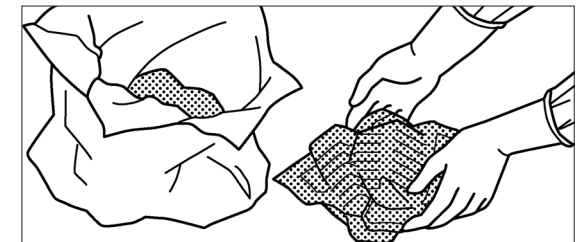
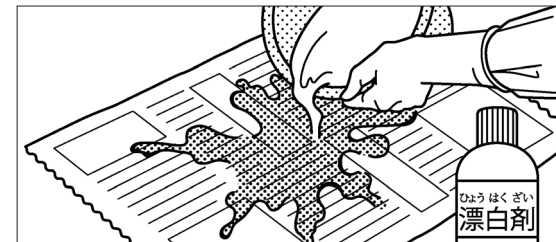
手順

①白衣（エプロン）、不織布マスク、ゴム手袋を装着し、0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を作っておきます。

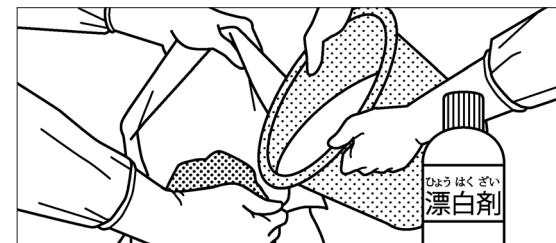


0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液
次亜塩素酸ナトリウムは市販の塩素系漂白剤の成分です。漂白剤原液10mLに対し水500mLを加えることで、濃度が約0.1%になります。

②換気をして、おう吐物に新聞紙（ペーパータオル）をかぶせ、上から次亜塩素酸ナトリウム溶液を染み込ませて、おう吐物を外側から内側に向けて拭き取ります。



③おう吐物をふき取った新聞紙（ペーパータオル）を入れたビニール袋の中や、おう吐物が付いていた床を、次亜塩素酸ナトリウム溶液を使って消毒します。



④床の消毒が終わったら、ゴム手袋は、付着したおう吐物が飛び散らないように裏返しに外して処分し、手を念入りに洗いましょう（次亜塩素酸ナトリウム溶液を含ませた雑巾などを10秒程度踏んで、靴底も消毒するとなお良いです）。

